

タイヤ交換時の注意(車輪脱落事故対策について)

大型車のホイール・ボルト折損等による車輪脱落事故が増加しており、とくに冬期(10月~2月)に多く発生しております。

車輪の脱落は、路上故障や他の交通の妨げとなるばかりでなく、歩行者や他の車両の乗員の命に係わるなど、場合によっては重大事故を引き起し、社会的信頼を損なうことにもなりません。

安全確保のために日常から、正しい点検・整備の実施をお願いいたします。

車輪脱落を防ぐポイント！

- ・確実な締め付け → トルクレンチを使用した規定トルクにて確実な締め付け(下記)
- ・増し締めの実施 → 50~100km走行後に確実な増し付け
- ・日常の点検 → 一日一回の日常点検
運行前に特に脱落が多い左後輪中心に点検願います

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは交換してください。

<小平産業製トレーラのホイールナット締め付けトルク数値一覧>

●ISO 10穴

メーカー名	車軸メーカー	締め付け方式		締め付けトルク(N・m)			ナット2面幅	
		ウエット	ドライ	550~600	600~660	600~680	33mm	32mm
小平産業	ソーシン	○		○			○	
	ベンツ		○		○			○
	HEND RICKSON		○			○	○	
	BPW		○		○		○	

●JIS 8穴

メーカー名	車軸メーカー	締め付け方式		締め付けトルク(N・m)			ナット2面幅	
		ウエット	ドライ	540~590	600~660	600~680	33mm	32mm
小平産業	ソーシン	○		○			○	

※締め付け方式『ドライ方式』の場合は、潤滑剤を塗布せず締め付けをする方式ですので油分は厳禁です。